

令和８年度　バス乗務員安全教育予定

4月	バスを運転する心構え ・バス事業の公共性と重要性 乗客を安全に運送するという重大な社会的使命を理解する ・他の運転者の模範となる運転 ・他の運転手に配慮するゆとり運転 ・高齢者、障がい者の方々の安全な運送を担っていることを認識する	10月	運行路線・経路における道路及び交通の状況 ○運行路線・経路における道路及び交通の状況 ・事前の情報把握 ・適切な運行経路の選択 ○情報に基づく安全運行のための留意点
5月	バスの運行の安全、乗客の安全を確保する為に遵守すべき事項 ○バス運行に係る法令（旅客自動車運送事業に係る法令） 「道路運送法」「旅客自動車運送事業運輸規則」 ・自動車の運転及び車輛の管理に係る法令 「道路交通法」「道路運送車両法」 ・義務と責任を果たさない場合の影響・リスクの大きさの理解 刑事処分、行政処分、会社に対する処分、重大事故の罰則、加害者・被害者の心理	11月	危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 ○危険予測運転の必要性 ○危険予測のポイント ・道路利用の歩行者・自転車等の行動特性に応じた配慮 ・悪天候・夜間の期間への配慮 ○危険予知訓練、指差呼称及び安全呼称 ○緊急時における適切な対応 ・交通事故や車両故障発生の対応、自然災害の発生に備えた対応
6月	台風・梅雨の大雨・地震発生時の安全運行 ・強風時・豪雨時の運行 強風時に想定される乗客の安全確保やトラブルを検証して対策の検討 冠水した道路への侵入禁止、迂回道路の事前検討 ・緊急事態時の対応検討（地震・豪雨等時の非常脱出要領演練） ・救急救命講習による演練 ・非常物品（消火器・発煙筒）の確認	12月	運転者の運転適性に応じた安全運転 ○適正診断の必要性 ○適正診断結果の活用方法の例 ・活用方法の例 ・「性格」の診断結果の活用 ・「安全運転態度」の診断結果の活用 ・「認知・処理機能」の診断結果の活用
7月	バスの構造上の特性 ○バスの特性に合わせた運転 ・車高の高さに配慮した運転 ・車長の長さに配慮した運転 ・車幅の広さに配慮した運転 ・死角の大きさに配慮した運転 ・スピードの特性に配慮した運転 ○多様化する車両に合わせた運転	1月	交通事故に係わる運転者の生理的・心理的要因と対処方法 ○交通事故の生理的・心理的要因 ○過労運転防止のための留意点 ・労働時間の規定、運行中の留意点、日常生活での留意点 ○飲酒運転防止のための留意点 ・飲酒運転に対する罰則、防止のための留意点、覚せい剤等の使用禁止 ○ヒューマンエラーを防ぐために ・道交法禁止事項（携帯）、あせり・イライラ・疲れ時の運転、環境整備
8月	乗務中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項 ・急の付く運転を市内 ・カーブでの追い越しはしない ・安全な速度と十分な車間距離を保つ ・乗客の状況を確認する ・シートベルト着用の徹底を図る ・走行中の運転への集中 ・救急救命講習実受講者の受講	2月	健康管理の重要性の認識 ○健康に起因する事故と健康管理の重要性 ・疾病要因の交通事故、健康診断・ストレスチェック等受診の必要性 ○健康管理のポイント ・身体面・精神面の健康管理
9月	乗客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項 ○乗降時の乗客の安全確保 ・滑かな発進・停止 ・乗車・降車の時の注意、貸切バスの乗降時の注意 ○高齢者・障がい者の乗車時の安全の確保 ・高齢者の安全各府 ・車いすの使用者・視覚障がい者の安全確保 ・ベビーカー利用者の安全の確保	3月	安全性を向上させる装置を備えたバスの適切な運転方法 ○運転支援装置関連の事故事例 ○運転支援装置の性能・留意点 ・ブレーキを制御を行う装置 ・ハンドル操作の警告・支援を行う装置 ・車両姿勢維持を支援する装置

バス乗務員教育

- 1　乗務員教育マニュアルだけに頼るのではなく、現役ドライバーの経験をふまえて全員で意見を出し合える対話型のドライバー教育を行っています。
- 2　ドライバーからはヒヤリハット情報を常に求め、全員で共有し乗務員教育で対策を話し合っています。



乗務員教育の様子



救急救命講習の様子